

等しい比

年 組 名前

/14

■ 次の分数の比を最も簡単な整数比で表しましょう。

① $\frac{9}{14} : \frac{2}{7} =$: → 分母の最小公倍数をかける

② $\frac{11}{14} : \frac{1}{7} =$: → 分母の最小公倍数をかける

③ $\frac{1}{4} : \frac{1}{24} =$: → 分母の最小公倍数をかける

④ $\frac{1}{14} : \frac{4}{21} =$: → 分母の最小公倍数をかける

⑤ $\frac{1}{2} : \frac{7}{12} =$: → 分母の最小公倍数をかける

⑥ $\frac{7}{10} : \frac{2}{5} =$: → 分母の最小公倍数をかける

⑦ $\frac{1}{8} : \frac{11}{24} =$: → 分母の最小公倍数をかける

⑧ $\frac{1}{20} : \frac{1}{8} =$: → 分母の最小公倍数をかける

⑨ $\frac{1}{3} : \frac{13}{15} =$: → 分母の最小公倍数をかける

⑩ $\frac{1}{28} : \frac{2}{7} =$: → 分母の最小公倍数をかける

⑪ $\frac{5}{14} : \frac{1}{4} =$: → 分母の最小公倍数をかける

⑫ $\frac{15}{28} : \frac{6}{7} =$:
 $=$: → 分母の最小公倍数をかける

最大公約数でわる

⑬ $\frac{2}{9} : \frac{1}{12} =$: → 分母の最小公倍数をかける

⑭ $\frac{13}{20} : \frac{1}{5} =$: → 分母の最小公倍数をかける

等しい比

年 組 名前

/14

■ 次の分数の比を最も簡単な整数比で表しましょう。

① $\frac{9}{14} : \frac{2}{7} =$ 9 : 4 → 分母の最小公倍数をかける

② $\frac{11}{14} : \frac{1}{7} =$ 11 : 2 → 分母の最小公倍数をかける

③ $\frac{1}{4} : \frac{1}{24} =$ 6 : 1 → 分母の最小公倍数をかける

④ $\frac{1}{14} : \frac{4}{21} =$ 3 : 8 → 分母の最小公倍数をかける

⑤ $\frac{1}{2} : \frac{7}{12} =$ 6 : 7 → 分母の最小公倍数をかける

⑥ $\frac{7}{10} : \frac{2}{5} =$ 7 : 4 → 分母の最小公倍数をかける

⑦ $\frac{1}{8} : \frac{11}{24} =$ 3 : 11 → 分母の最小公倍数をかける

⑧ $\frac{1}{20} : \frac{1}{8} =$ 2 : 5 → 分母の最小公倍数をかける

⑨ $\frac{1}{3} : \frac{13}{15} =$ 5 : 13 → 分母の最小公倍数をかける

⑩ $\frac{1}{28} : \frac{2}{7} =$ 1 : 8 → 分母の最小公倍数をかける

⑪ $\frac{5}{14} : \frac{1}{4} =$ 10 : 7 → 分母の最小公倍数をかける

⑫ $\frac{15}{28} : \frac{6}{7} =$ 15 : 24
 $=$ 5 : 8 最大公約数でわる

⑬ $\frac{2}{9} : \frac{1}{12} =$ 8 : 3 → 分母の最小公倍数をかける

⑭ $\frac{13}{20} : \frac{1}{5} =$ 13 : 4 → 分母の最小公倍数をかける